

2019年5月27日

各位

旭化成株式会社

**気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同について**

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅、以下「当社」）は、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD：Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下「TCFD」）提言に賛同することとしましたのでお知らせします。

TCFD 提言は、世界主要 25 カ国・地域の財務省、金融規制当局、中央銀行などの代表を参加メンバーとする金融安定理事会（FSB）が設置したタスクフォースによる提言であり、企業に対し、気候関連のリスクと機会に関する情報開示を行うことを推奨しています。

（参考：TCFD ウェブサイト <https://www.fsb-tcfid.org/>）

パリ協定に象徴されるように、世界的な平均気温の上昇を始めとする気候変動は、社会や生態系、企業に中長期的に大きな影響を与える恐れがあり、解決すべき重要な課題です。また、気候変動を防ぐための行動や規制は、社会のあり方や企業の事業戦略に影響を与えるものです。当社は、企業が自らのリスクと機会を開示することは、ステークホルダーとのさらなる信頼関係を構築し、持続的に企業価値を向上させるためにも有用であると考えており、この度、TCFD 提言に賛同することといたしました。

当社は、「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します。」というグループ理念のもとで経営を進めており、地球温暖化ガス（Green House Gas、以下「GHG」）の排出量削減、排出効率向上に向けた行動はもとより、多様な事業を通じて世の中の GHG 排出量削減に貢献していくことを経営の重要課題と認識しています。

持続可能な社会の実現に向けて、当社は「健康で快適な生活」と「環境との共生」を通じた新たな価値を提供していくという観点から、今後も世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献してまいります。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

広報室 TEL 03 - 6699 - 3008